

研究構想シート	学校名	松江市立美保関中学校
	氏名	樋ヶ 涼子
A 研究主題 仲間と協働して主体的に学び、課題を解決するための思考力・表現力を高める生徒の育成		
B 研究の目的 仲間と協働して主体的に学び、課題を解決するための思考力・表現力を高めるための方法を明らかにする。		
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや思いがあっても、自信のなさからか、全体の場で発言できない生徒が多い。 ・一見して難しそうな応用問題や長文問題には最初からあきらめがちになったり、取り組んでも問題を正確に読みきれず、時間不足になったりする生徒が増えてきている。 ・多くの生徒の家庭学習の時間は増えてきつつあるが、中には取り組み状況が作業化してしまっている生徒もいる。 ・SNSの利用時間が長くなっていて生徒が多く、そのために読書や生活体験(手伝いや地域活動への参加など)のための時間、学習の時間が短くなる傾向がある。 	E 手立て・内容(研究仮説) <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題(めあて)を明確化する。『目標』は「活動内容」ではなく、「どのようなことができるようになるのか」という視点から表現する。 ○より効果的な振り返りを行うことで、生徒の主体的な学びになるよう工夫する。学習したことがアウトプットできるような振り返りの場を工夫する。 ○ICTを効果的に活用し、より生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。 	D めざす子どもの姿 <p>広い視野と温かい心を持ち、主体的に行動できる生徒の育成</p> <p>～体力、気力、徳力、知力の調和ある生徒の育成～</p>
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の振り返りやワークシート等をもとに生徒の変容をみとる。 	
	G 研究計画 <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究構想の共通理解を図る。 ○ 一人一授業公開 1, 2学期を中心に行う。指導案を作成し、授業参観した者で気づきを共有する。 	